

2年2組 図画工作科学習指導案

授業者 中川 佑紀

授業① 2年2組教室

1 題材名 へんしんッ！～ゆめのすてきなぼうし～

2 題材のねらい

- 自分の感覚や行為を通して、形や色に気付き、新聞紙、芯などの紙材やのり、ボンドの扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。 **【知識及び技能】**
- 形や色などを基に、自分のイメージをもち、ゆめのすてきなぼうしから想像したことから表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろ形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考える。 **【思考力、判断力、表現力等】**
- 楽しく想像したことを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとする。 **【学びに向かう力、人間性等】**

3 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①自分の感覚や行為を通して、形や色に気付いている。 ②新聞紙、芯などの紙材やのり、ボンドの扱いに十分に慣れるとともに、手や体全体の感覚などを働かせ、表したいことを基に表し方を工夫して表している。	①形や色などを基に、自分のイメージをもち、ゆめのすてきなぼうしから想像したことから表したいことを見付け、好きな形や色を選んだり、いろいろ形や色を考えたりしながら、どのように表すかについて考えている。	①楽しく想像したことを表す活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しい生活を創造しようとしている。

4 図画工作科で重点的に育成を図る資質・能力とその手立て

挑戦心	題材と出合い、自分の思いを実現しようとする。 ①実態に合った題材や主題と出合わせる。 ②試行錯誤できる材料や時間を確保する。
伝える力	自分の思いや表現の工夫を、伝えることができる。 ①表現や鑑賞の活動がしたくなる課題を設定する。 ②交流の内容や形態、タイミングなどを吟味する。
評価する力	変容をふり返ることで、自己の成長に気付くことができる。 ①思考や表現の過程を可視化できるようにする。 ②自己の成長を実感できる場を設定する。

5 指導にあたって

(1) 題材観

1学期の国語科で、物語「ミリーのすてきなぼうし」を学習している。この「ミリーのすてきなぼうし」には、帽子屋の人がくれた想像の帽子が登場する。ミリーがその帽子をかぶって街を歩きながら、いろいろな帽子を想像していく。子どもは、「こんな帽子があったらいいな」「自分だったらこんな帽子がほしいな」という思いをもちながらお話の世界に浸っていた。このお話の中に登場する想像の帽子を、実際にかぶることのできる「すてきなぼうし」に表現することで、活動意欲につながると考えた。

また、幼少期には戦隊ものやアニメのキャラクターの変身を目にしたり、ハロウィンパーティーや行事などで仮装をしたりすることで、心が高揚するような経験をもっていることから、楽しみながら表現していくことができる題材である。

(2) 児童観

どの題材においても、興味・関心をもちながら楽しんで活動し、表現することに対して意欲的である。

挑戦心について、実態に合った題材や主題と出合わせることで、子どもは自分の表したいことを自分なりの表し方で表現していくことができた。「しあわせの花」の題材においては、学校・学年目標でもある「しあわせ」という言葉と図工の時間に改めて出合わせた。経験してきたことや想像したことから、「しあわせ」から好きなことや夢への思いを広げ、オイルパステルを使って絵に表現することができた。

伝える力について、「にぎにぎねんど」では、表現や鑑賞の活動がしたくなるように、偶然できたにぎった形や聞いたことのない生き物の名前からイメージを広げることで、友達に自分の思いを伝える姿が見られた。

評価する力について、ワークシートに思考や表現の過程を可視化できるようにした。また、うまく表現できないことや思いに合った表現ができたことを、自由に伝え合える「にこにこしほう台」を設置し、交流を促す場とした。可視化したり、交流したりすることで変容をふり返るきっかけとなり、自己の成長に気付くことができるようになってきた。

(3) 指導観

本題材は、子どもにとって身近である新聞紙の土台の上にトイレットペーパーの芯や新聞紙で形を表現する。その形に、色とりどりのお花紙や石川県の繊維会社のつくった布の端材を重ねていく。ファッションデザイナーや繊維会社の人との出会い、様々な材料との出会いから、自分の思いに合う形や色の表現へとつなげていきたい。

第一次では、「ミリーのすてきなぼうし」に登場する帽子から、かぶると自分の夢やなりたいもの、したいことができる「すてきなぼうし」のイメージをふくらませる(挑①)。そして、ファッションデザイナーと出会い、そのデザイナーのつくる「すてきなぼうし」を見たり、話を聞いたりすることで、よく目にしている帽子のイメージから、「すてきなぼうし」へとイメージを広げていく。そこから、帽子の土台をつくり、広げたイメージを作品へとつなげていく。そして、表現する前に材料に触れる時間を確保する(挑②)。手や体で存分に感じることで、形や色の可能性が広がり自分の思いを表現することができると考えている。

第二次では、帽子の土台にトイレットペーパーの芯や新聞紙など身近な紙材で形を表現する。そのできた形を張り子の技法を使い、形を決める。その上に貼るお花紙や布材は、重ねる順番や重ねる量によ

って、様々な色へと変化していく。造形活動の中で自分の思いを形や色にこだわって表現していき、試しの活動をくり返す中で、さらに追求することにつなげることができるようにする（挑②）。その際に、友達とのかかわり合いの場を大切にしていく。かかわり合いの中で効果的に伝えることができるように、お花紙等の材料や鏡を置く場所、活動の形態を工夫する（伝②）。さらに、このようなかかわり合いによって得た表現方法などの新たな意味や価値を、自分の作品に反映させることができる時間を確保する。ワークシートには、かわり合いや表現する中で見つけた新たな意味や価値を残していくことで、自分の思いや作品の形や色へのこだわりに対する変容や成長に気付くことができるようにする（評②）。また、友達からの共感、アドバイスなどの声も蓄積していき、全体にも広められるように掲示していく（評①）。

第三次では、完成した作品をかぶって、ファッションショーを開催する。ファッションショーでは、完成した「すてきなぼうし」の自分の思いや友達の思いを交流する。完成した作品をふり返るためのワークシートも蓄積していく（評②）。素直に感じたことやかかわり合いで生まれた言葉、作品の変容した理由などを、子どもの思いを制限することなく、文字のみならず絵や図でもかけるようにすることで、造形活動の過程を残しやすくする。

6 題材計画

次	時	学習活動	★9つの資質能力の育成に關する手立て	評価
一	1	<p><「すてきなぼうし」はどんなぼうしかな></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「すてきなぼうし」をどんなぼうしにしようか、イメージが広がったよ。ぼうしが完成するのが楽しみだよ。</p> </div>	<p>・「すてきなぼうし」のイメージをふくらませ、自分の思いを伝えることができるように、絵本の挿絵を掲示する。（挑①）</p>	知①
	2	<p><ざいりょうとなかよしになろう></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>材料となかよしになったよ。この材料で「すてきなぼうし」を表現していくのが楽しみになったよ。</p> </div>	<p>・材料から、作品へとつなげていけるように、形や色となる新聞紙やお花紙を手や体で存分に感じる時間を確保する。（挑②）</p>	思①
二	1	<p><「すてきなぼうし」の土台をつくるには？></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>「すてきなぼうし」の土台ができたよ。次は形を表現していくんだね。</p> </div>		態①
	2 ・ 3 ・ 4	<p><自分の「すてきなぼうし」に ぴったりの形は？> 本時</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の「すてきなぼうし」にぴったりの形になったよ。</p> </div>	<p>・自分の思いに合う形になるように、友達の作品を見合い、かかわり合いの形態を工夫する。（伝②）</p> <p>・変容や成長に気付くことができるように、ワークシートに残していく。（評①）</p>	知① 思①
	5 ・	<p><自分の「すてきなぼうし」に ぴったりの色やかざりは？></p>	<p>・自分の思いに合う色やかざりになるように、友達の作品</p>	知① 思①

	6 7	<div data-bbox="280 185 887 297" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>自分の「すてきなぼうし」にぴったりの色やかざりになったよ。早くかぶってみたいな。</p> </div>	<p>を見合い、交流できるかかわり合いの形態を工夫する。 (伝②)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・変容や成長に気付くことができるように、ワークシートに残していく。(評①) 	
三	1	<p><ファッションショーで「すてきなぼうし」を見合おう></p> <div data-bbox="280 544 887 701" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>友達のすてきなぼうしがすてきだったよ。私のすてきなぼうしを見てもらえてうれしかったよ。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・完成した帽子をかぶり、自分の思いや友達の思いを交流することができるように、ファッションショーの場を工夫する。(評②) 	態①

7 本時の学習 第二次中 3時

(1) 本時のねらい

自分のイメージをもち、ゆめのすてきなぼうしに合う形をどのように表すかについて考える。

【思考力、判断力、表現力等】

(2) 学習の展開

時	主な学習活動と子どもの思考の流れ ○教師の発問 ・予想される子どもの思考	・指導 ◎評価 ★9つの資質能力の育成に関わる手立て
5	<p>1. 本時の課題をつかむ</p> <p>○自分の「すてきなぼうし」に合う形は、どんな形かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふわふわした感じにしたいから、新聞紙を使うよ。 ・「恐竜と友達になりたい」から、芯で角をつけるよ。 ・自分の思いのイメージに合う形にする技を見つけたよ。 <p><自分の「すてきなぼうし」にぴったり合う形は？></p>	<ul style="list-style-type: none"> ・友達はどのような思いをもっているかを知るために、ゆめなどの思いに合う材料、表現について交流する時間を確保する。
15	<p>2. 自分の「すてきなぼうし」の思いに合う形を表現する</p> <p>○思いにぴったりの技は、どんな技かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「お花の上でねたい」から、ゆっくり寝れそうなベッドみたいにふわふわにしたいから新聞紙を丸めるよ。 ・「ねことお話したい」から、芯を三角形にして耳にするよ。 ・かわいいイメージにするために、新聞紙を使いたいけど、どんな形にしたらいいかな？みんなの考えも聞きたいな。にこにこしほう台に乗って聞こう。 	<ul style="list-style-type: none"> ★自分の思いに合う形になるように、友達の作品を見合い、新たな表現方法などを交流できるかかわり合いの形態を工夫する。 (伝②)
20	<p>3. 「すてきなぼうし」を交流し、自分の表現に生かす</p> <p>○友達の「すてきなぼうし」はどんな形かな。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゆっくりねむれそうな形だね。そのベッドがふわふわな感じがするから、思いにぴったりだね。 ・ミリーの世界にもない、すてきな形だね。私ももっとすてきな形にしたいな。 ・ねじる技でもっと「すてきなぼうし」になりそうだよ。 ・自分の思いにもっと合う形を見つけて、もっと「すてきなぼうし」になってきたよ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・かかわり合いの中で効果的に表現方法を決めることができるように、お花紙の置く場所や活動の形態を工夫する。 ・友達との自然な対話がうまれるように、鏡を設置しぼうしをかぶっている自分の姿を確認できる場を設定する。
5	<p>4. 今日の活動をまとめ、ふり返る</p> <p>○もっと「すてきなぼうし」になったかな。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>自分の「すてきなぼうし」にぴったりの形になったよ。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・つのの形をかえたら、もっと「すてきなぼうし」になったよ。 ・友達のアドバイスのおかげで、自分の思いにぴったりになったよ。 ・もっと「すてきなぼうし」になってうれしいな。 ・色をつけると、もっとすてきになりそうだよ。 	<p>◎自分のイメージをもち、ゆめのすてきなぼうしに合う形をどのように表すかについて考える。</p> <p>【思考・判断・表現】 (作品・ワークシート)</p> <p>★変容や成長に気付くことができるように、ワークシートに残していく。 (評①)</p>

